伊勢の津七福神　友の会だより

令和４年 10 月　第 30 号

開創１０周年記念式
★日　時：令和４年　12　月　2　日（金）
　　11　時～12　時　（受付：10　時半から）
当日のご祈願受付は 11 時までとさせて頂きます。
★場　所：高山神社　津市丸之内 27－16
　　059-225-8558　（駐車場はありません）
★参加費：初穂料　お一人 1,000 円より
特典：願い事をご祈祷し、記念品・お弁当を準備
※詳細は４ページをご覧ください。

■「四苦八苦」

初馬寺住職　近藤玄道

令和 4 年 12 月、伊勢の津七福神巡りが開創 10 周年となります。その間、開創時の霊場会 7 寺社の神職･僧侶の内、結城神社の宮崎吉章宮司、四天王寺の倉島昌行東堂が逝去され、榊原地蔵寺さんが諸般の事情で一志波瀬の安楽寺さんに変更になりました。また年中行事として 3 月観梅祈願祭・7 月七夕祈願祭･12 月周年記念祭など粛々と進めて来ており、この 10 年間それなりの歴史が刻まれました。

一方で世界は令和 2 年から 3 年ほどにわたり新型コロナという疫病に翻弄され、ロシアのウクライナ侵略戦争という意味不明の事態が起こり、インフレの波が押し寄せています。「もの皆必然」と言いますが、私たちには予測不能で神のみぞ知る状況と言えるでしょう。天上界の神様は地上で右往左往する人類をどんなふうに見ておられるんでしょうか？

さて、人間は生まれた瞬間から死に向かって歩み始めるのですが、その間は四苦八苦の連続です。生老病死の四苦、愛別離苦・怨憎会苦・求不得苦・五蘊盛苦の四苦と合わせて四苦八苦。その意味は

1.生苦　生まれて生きる苦しみ
2.老苦　老いる苦しみ
3.病苦　病の苦しみ
4.死苦　死の苦しみ
5.愛別離苦　あいべつりく：愛するものとの別れによる苦しみ
6.怨憎会苦　おんぞうえく：恨み憎しみを感じる人と会わなければならない苦しみ
7.求不得苦　ぐふとっく：求めても得られない苦しみ
8.五蘊盛苦　ごうんじょうく：肉体が盛んが故の苦しみ

あなたは、今どんな苦をお持ちでしょうか？
仏教では、これらを邪気・煩悩・執着などと称して、すべて自ら切り捨てなさいと教えますが、われら凡人には、とても無理です。

日々幸せを願うのは人の常ですが、人には、それぞれに感受性があり、仕事、生活、お金、愛情、健康等々価値観が異なるため、幸せとは主観的なものでしょう。客観的に言えることは、悪よりは善を、不義よりは正義を、混沌よりは調和のある人生を歩みたいものです。

世情不安の多いこの頃で、気持ちも塞ぎがちですが何事が起こっても「わっはっは」と笑い飛ばせる胆力を身に着けるべく、気分転換に「伊勢の津七福神巡り」にでも出かけましょう。

俳　句　　伊藤芳樹さん（藤方）
・吹き溜まる 落葉彩り ありにけり
・風紋を 踏みゆく夕べ 鰯雲
・峠より 望む古里 柿の秋
・年用意 終えし境内 鎮もれり

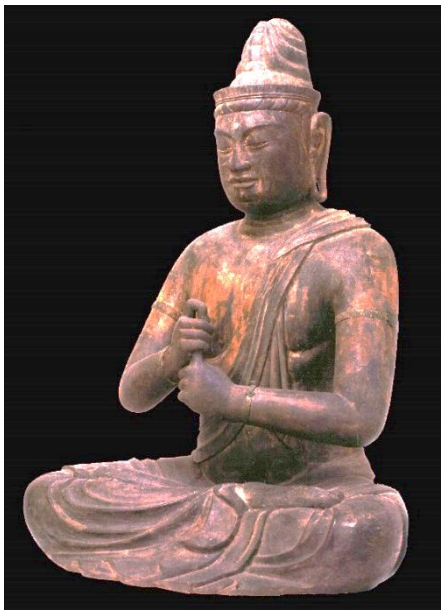
寺社シリーズ

【初馬寺　第三霊場恵比須天】

【寺紹介】

聖徳太子創建、『津の初午さん』として親しまれている。四天王寺建立の際、病に罹られた太子が馬頭観音を自ら刻み病気平癒の祈願をされた草堂を起源とする。重文の大日如来･阿弥陀如来坐像は 3 月の厄除け初午会式で、ご開扉されます。

【年間行事】



大日如来坐像
（平安時代前期作　国の重要文化財）

馬頭尊護摩供（初午会式にて厳修）

利休梅(４月～５月)

２月３日 ―　星祭り：転禍為福・福寿増長
３月初午の日 ― 初午会式：厄除け祈願
７月丑の日、８月二の丑 ― 木瓜加持：諸病平癒
毎月 18 日 ― 馬頭観音祭(諸供養･諸祈願)

伊勢の津七福神　友の会のご案内

■伊勢の津七福神　友の会特典　（会員証をお見せください）　*2022.11*

・うなぎのつたや	059-228-3005	本体価格（消費税含む）から 100 円引き
・榊原舘	059-252-0206	日帰り入浴 お茶進呈
・谷石材	0595-21-2148	花筒（本体価格）の 5 %引き
・はま作	059-228-3088	和菓子サービス
・ホテル三徳	059-223-3109	宿泊客にコーヒー1 杯サービス
・お菓子處とらや本家	059-228-4802	1000 円（本体価格）以上お買い上げで 5%引き
・マキノ回生堂	059-228-5331	1000 円（本体価格）以上お買い上げでティッシュひと箱
・長谷川印刷	059-228-4465	名刺 100 枚（本体価格）　一割引き
・飯処　しるべ（大門）	059-261-4116	食事の後、ソフトドリンク 1 杯サービス
・（株）日塗建	059-271-6066	塗装料（消費税含む）から 10%引き　相談可

2012 年 12 月 2 日　「伊勢の津七福神」が、津市に開創して 10 年が経とうとしています。開創以来巡拝の方は、 6800 名（９月末）を越え、多くの方に触れていただきました。また、現在 200 名の友の会会員の皆様のご協力・ご支援を頂き、この先も歩みを進めて参りたいと思っています。

津市内の由緒ある七寺社を巡拝していただく中で、『歴史ある津の町を多くの方々に知ってほしい』という願いを込めて”伊勢の津七福神”は開創されました。是非、この活動に御賛同くださり、巡拝・感謝の心を育て、町おこしの夢を見てみませんか。

会員の方には、友の会だより・上記お店の特典もございます。

会　　費：1,000 円/年間
金融機関：郵便局
郵便振替口座　：00820-8-123136
口座名義：伊勢の津七福神友の会

《伊勢の津七福神友の会事務局》
電 話：059-225-8558

《伊勢の津七福神友の会事務局》
〒514-0033　津市丸之内 27-16　高山神社内
電 話：059-225-8558

編集後記：ご意見、原稿お寄せ下さい。
10 周年、無事迎えられますように。
池上 kanon@nifty.com

“伊勢の津七福神”

【開創十周年記念祭】ご案内

★日 時:令和4年 12 月 2 日(金)
11 時～12 時 (受付:10 時半から)
当日のご祈願受付は、11 時までとさせて頂きます。

★場 所:高山神社 津市丸之内 27－16
059-225-8558
駐車場はありませんので、公共交通機関のご利用や市営駐車場のご利用をお願いします。

★参加費:初穂料 お一人 1,000 円からのお気持ちを承ります。
特典といたしましてはー
① ご祈願受付(当日、「ご祈願申込書」にご記入ください)
② 記念品、お赤飯とお茶を準備しております。
(数に限りがありますのでお早めに)

★当日の拝殿内のご参列は、密を避けるため 30 名とさせて頂きます。
これを越える場合は、外拝殿でのご参列となります。

★当日ご参加の皆様へのお願いごと。
①外出前に、体調の確認と体温計測をお願いします。
②受付時の検温・手の消毒にご協力ください。
③受付時、ご氏名・ご住所・ご連絡先(電話番号)をご記入ください。
④境内、拝殿内では、マスクのご着用をお願いします。
⑤外拝殿でのご参列になることもありますので、暖かい服装でご参加ください

同封のハガキは、11 月 15 日までに投函ください。

《津市営お城東駐車場》ご案内